

1. 施設の概要

公の施設の名称

- ① 無鄰菴
- ② 岩倉具視幽棲旧宅

所在地

- ① 京都市左京区南禅寺草川町3 1
- ② 京都市左京区岩倉上蔵町1 0 0

ホームページアドレス

- ① <https://murin-an.jp/>
- ② <https://iwakura-tomomi.jp/>

設置年月

- ① 昭和16年7月
- ② 昭和7年3月

利用料金制度

- 有

設置根拠（法令，条例）

- 京都市無鄰菴等条例

設置目的

- 名勝・史跡を公開し、一般の観賞等の用に供する事業
- 施設の特色をいかした文化財を身近に利用することができる機会の提供
- その他、市長が必要と認める事業

施設の概要

①（無鄰菴）

明治・大正時代の元老山縣有朋の別荘として、明治29年に完成した。庭園は、山縣自身が設計監督し、七代目小川治兵衛が作庭したものであり、洋館は、日露開戦直前の我が国の外交方針を決めた「無鄰菴会議」が開かれたことで有名である。

②（岩倉具視幽棲旧宅）

岩倉具視が尊皇攘夷運動の高まりの中、元治元年（1864）から慶応3年（1867）までの間幽棲した施設。大工藤吉の居宅（現在の附属屋）を購入し、主屋と繋屋を増築して住居とした。

2. 指定管理者

指定管理者の名称

- 植彌加藤造園株式会社

主たる事業所の所在地

- 京都市 左京区鹿ヶ谷西寺ノ前町45番地

指定期間

- 令和5年4月1日～令和9年3月31日（4年間）

3. 指定管理者の業務の運営状況

① 施設の管理運営

【貸館業務】

- 受付窓口業務（貸館申込受付、入場料・使用料徴収等）

【サービス向上の主な取組＜全て指定管理者提案内容＞】

- 適切な人材配置(学芸員，しつらえスタッフ，バイリンガルスタッフ)
- 研修等による利用者対応の向上
- 文化財施設を管理、運営する上で必要なスキルを備えた人材育成の実施と教育体制の強化
- 案内表示や展示レイアウトの改善(バイリンガル対応)
- 半年毎の事業報告冊子の発行
- 公式サイト等のオンラインメディアを活用した情報提供
- オンラインを通じた事前予約優先制および時間ごと上限人数制の導入
- 市民の自主的な活動を促すボランティア制度の実施
- イベントやサービスの実施結果や参加者属性などの自主モニタリング
- 窓口アンケート実施によるサービス水準の向上
- 文化財の本質的価値をわかりやすく伝える利活用と価値の普及を目的としたイベント企画と実施

② 施設の維持管理等

【植栽等管理】

—概要—

無鄰菴では『名勝 無鄰庵庭園 保存管理指針 暫定版 平成27年』および『名勝無鄰菴庭園保存活用計画 令和4年』を、岩倉具視幽棲旧宅では「現況調査からの管理方針」を基に、植栽等管理を行い、本質的価値（庭園の持つ固有の価値）の保存に努めました。また、危険木対策を進め、安全確保に取り組みました。

—通常管理—

- (無鄰菴)
常に来園者が心地よく過ごせる空間を保つため、日常的に清掃を行い、樹木は自然樹形に整え庭園全体の調和を図りました。
- (岩倉具視幽棲旧宅)
樹木は自然樹形に剪定し、生垣の刈込み、園池清掃などを行い、来園者が心地よく過ごせる空間の維持に努めました。敷地境界の樹木は、越境がないよう整えました。

—危険木対応—

来園者（第三者）及び施設の安全のため、年4回の危険木調査を実施し、危険性が見られる樹木の早期発見や経過観察に努めました。

2024年度は母屋西のヒムロスギを危険木として伐採しました。また、本格修理の支障となる樹木として、母屋西のアオギリと母屋東のモミを伐採しました。

—修繕等管理—

●考え方

今後、耐震補強を含む本格修理が予定されているため、本格修理の対象となる躯体構造および床・畳・壁・建具等の主要構造の修繕は除外しつつ、来場者が触れる箇所や目につく箇所の造作を優先して修繕を実施しました。

●無鄰菴

- 母屋漆喰剥落...2024年春、母屋二階妻壁の漆喰が剥落し、これを修繕しました。
- 外塀漆喰剥落...2024年冬に北東側外塀の漆喰が剥がれ落ち、周辺の漆喰壁にも浮きが見られたので、幅約4メートルにわたって塗り直しを行いました。
- 縁側床板...2024年夏、十畳間南の縁側床板の浮きが発生。修繕しました。

●岩倉具視幽棲旧宅

- 母屋北西縁床板...玄関からの動線に当たる縁側の床板が浮いていたため、固定しました。
- 附属屋南縁床板...中庭に面する縁側の補修部分にヤニが浮いていたため除去しました。
- 繋屋雨戸...雨戸の戸板に割れがあり、板を交換するなど、修繕しました。
- 附属屋入口鍵金具...金具が老朽化しており、交換しました。色彩にも配慮しました。
- 通用門金物...通用門の門扉の蝶番を修繕するとともに、扉天端の笠金物を新調しました。
- 表門防虫処置...表門下部の蟻害を抑制するため、薬剤を塗布しました。
- 倉庫の解体...老朽化した倉庫を解体し、収蔵品を仮置きしました。

【施設・設備の維持管理】

● 設備の点検

建築設備などに関する各種点検については、日常管理業務の項目に定めのある通りに実施しました。

- 防災、電気、空調、給排水、衛生などの各設備の運転監視、法定点検、定期点検等
- 廃棄物処理（毎日）
- 害虫駆除のための薬剤散布（年2回）
- 消防用設備の機器点検（年2回）、総合点検（年1回）

- **保守管理業務**

建築物並びに園内の巡回は、毎日の点検について以下のとおり実施しました。

- 閉館時間前、午前、正午前後、午後、閉館時間前 の5回（休園日についても同じ）
- 建築物とその周辺については、施設の使用の前後にも巡回・点検を行いました。

- **警備業務**

閉場時間中の警備業務については、機械警備と警備員による対応を組み合わせ、

- センサーの配置
 - 通信回線などの確保
 - 防犯システムに適切な計画の作成
- を行ったうえで、警備システムの運用を行いました。

- **清掃業務**

- 床、壁、扉、ガラス、障子、鏡、什器・備品、照明器具等について、場所ごとに、日常清掃、定期清掃を組み合わせ、ゴミ、ほこり、汚れ等がない状態を維持しました。
- トイレにおいては、1日1回以上定期清掃するとともに、1日3回以上の点検を行い、汚れなどを発見した場合にはただちに清掃し、清潔な状態を維持しています。

【危機管理体制の整備】

- 危機管理責任者、防火管理責任者、食品衛生責任者を設置
- 消防訓練の実施（年2回。内一回は左京消防署に指導を受けながらの実施）
- 損害賠償と保険への加入：
 - 施設賠償責任保険（第三者への補償含む）
 - 個人情報漏えい保険
 - 自主事業などに伴うイベント保険

③事業実施

<無鄰菴>

- 文化財講座、お点前体験、能、音楽会などの文化財の活用、普及啓発を目的とした企画
- お香、和食など、京都の地元企業と連携しての庭園文化に関する普及啓発イベント
- 職人による庭園の管理方針について実技を交えてレクチャーする企画
- 文化財の保存と活用への市民参加機会としてのファンクラブの運営（2025年3月時点 登録数9,000名）
- 市民参加型ボランティア活動の運営と支援（2025年3月時点 登録数約90名）
- 開場時間外を利用した一棟貸し、特別イベント
- 一般公開部分での抹茶を含む無鄰菴に因んだメニューの提供、オリジナルメニューの充実による利用促進
- 二十四節気に合わせた限定茶菓子の提供
- 野鳥ガイド、10分無料ガイドなど、予約無しで楽しめる定期的なサービスの提供
- 裏千家講師による茶道教室
- 地域の中での施設の価値をアピールするための、近隣とタイアップしたイベント
- 年齢層に応じた広報印刷物や広報メディアの拡充
- 学術、文化機関と連携し、視覚障害者と庭園を楽しむユニバーサル対応イベント



<岩倉具視幽棲旧宅>

- 近隣教育関連施設との連携強化による学校授業カリキュラムへの施設訪問の組み込み
- 施設の存在と概要を多くの方に伝える看板設置、及び公共共通機関を利用した広報
- 古文書講座、古地図を歩くなど、岩倉具視・歴史に係る企画
- 無料ガイドの恒常的な提供
- ガイドブックなどオリジナルグッズの作成、販売
- 休憩所への歴史関連書籍や周辺ガイドブックの設置
- 周辺散策MAPの作成、無料配布
- 主屋、対岳文庫にある展示品へのキャプション設置
- 企業向け研修サービスの提供
- 喫茶サービスの充実
- SNS等による継続的な情報発信
- メールマガジンによる、より深い興味を持った来場者層に対するイベント等の情報提供
- 夜間イベントの実施
- オンラインによる国内歴史関連施設との連携イベント



(参考) 無鄰菴の自主事業内容

- 夜間の一棟貸しでの法人利用を積極的に誘致している
- 保存に貢献する形での文化財の利活用と活性化を目指す



④サービス提供状況

- 現場リーダー 1名
- 広報企画担当 3名
- 総務担当 1名
- サービススタッフ（アルバイト）含め

常時無鄰菴3名体制、岩倉2名体制
その他本社からの応援を適宜補充している

4. 施設の利用状況

		無鄰菴	岩倉
利用者数（人）	前年度値	59,791	4,994
	実績値	61,295	5,271
	対前年度比	103%	106%
施設稼働率（件）	前年度値	387	--
	実績値	345	--
	対前年度比	89%	--

5. 収支状況

指定管理業務の収支状況		
収入状況（円）	委託料	0
	利用料金	44,733,100
	その他	0
	収入計	44,733,100
支出状況（円）	人件費	24,827,316
	事業費	22,698,740
	委託費	0
	少額修繕費	169,103
	その他	0
	支出計	47,695,159
収支（円）	収支	-2,962,059

その他の業務の収支状況		
収入状況（円）	委託料	0
	補助金収入	0
	自主事業	47,267,680
	その他	0
	収入計	47,267,680
支出状況（円）	人件費	0
	事業費	45,865,120
	委託費	0
	その他	0
	支出計	45,865,120
収支（円）	収支	1,402,560

6. 来場者の意向の把握

◆施設利用者アンケート（通年）

【方法】来場者の属性、来場動機、10分ガイドと喫茶に満足度（無鄰菴）、入場制限の評価、自由意見

【設問数】15問

【回答数】無鄰菴：982件 岩倉：1,681件

◆イベント参加者アンケート(各イベントごと)

【方法】参加者に対し、料金設定・企画内容・職員の対応等について5段階評価で実施。

② アンケートの結果概要

◆無鄰菴来場者アンケート（2024年度第3四半期分）

◇来場目的：庭園鑑賞91.2%

◇10分ガイド：参加率92.9%

◇入場制限：知人の誘いやすさ：5段階中最高評価5：48%

◇喫茶：スタッフの接遇：5段階中最高評価5：66%

◆岩倉具視幽棲旧宅来場者アンケート

◇入場前の期待値と比較した見学後の満足度：大満足...796件（47.4%）

◇満足度の理由（第3四半期から）

- ・ガイドの方がとても親しみやすく楽しかった。
- ・趣のある庭、建物。解説もわかりやすい。
- ・丁寧に説明して頂き、とても良く理解できました。

7. その他特記事項

2020年度から導入した定員制による予約優先入場は、繁忙期の混雑を抑え、快適な鑑賞環境の確保に貢献してきました。さらに2023年度からは、文化財の保全、収益の安定化、来場者数の平準化を目的に、繁忙日料金制を導入しています。

2025年度も、来場者の傾向と収益との関係を継続的に分析し、その結果を踏まえた料金設定を行ってまいります。これにより、文化財の価値を守りながら、質の高いサービス提供と持続可能な運営の両立を目指してまいります。